

消防年報



射 水 市 消 防 本 部

[富 山 県]

令和元年刊行

射水市民憲章

射水市は、雄雄しい立山を東に仰ぐ富山県のほぼ中央に位置しています。

「いみず」という地名は、わが国最古の歌集「万葉集」の中にもすでに表われています。

わたしたち市民は、この風土と歴史、輝かしい文化と産業を、誇りと責任をもって未来へと引き継ぎ、一人ひとりが豊かに、よく生きるまちをつくりあげるため、ここにこの市民憲章を定めます。

一 まもろう

海、川、野そして里山に生命あふれるまち

一 育てよう

心身ともに健やかで明るく潤いのある家庭を築くまち

一 生みだそう

学びと勤労に励み安らぎとにぎわいのあるまち

一 創りだそう

文化を受け継ぎ産業をさかんにし豊かで活力のあるまち

一 深めよう

世界に開かれた人の和のゆき交うまち

平成十九年一月一日制定

射水市民の歌

水きららかに街を射して

作詞 村田さち子

一 果てしなく 広がる

いみず野の キャンパス

描かれた夢は 流れになり

水きららかに 街を射して

日本海へ

この街を歩くだけで

心湧きたつ

かけがえのない ふるさと

二 いみず野に さざめく

幸せの コーラス

それぞれの祈り 響き合い

歌きららかに 風と流れ

あいの風に

この街で生れ育ち

君に出会えた

かけがえのない ふるさと

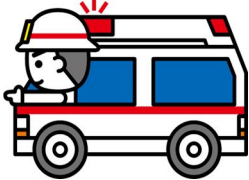
きららかな きららかな ふるさと ああー！

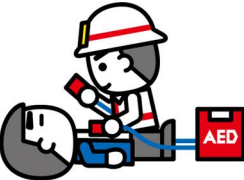
平成十九年三月三十一日 制定

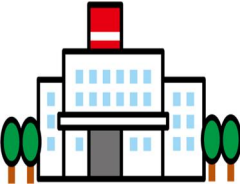
射水市消防ミニ概要

平成31年4月1日現在

	本部・署所	消防吏員数	消防団員数	予 算
消防機構				 (令和元年度当初予算)
予 算	消防本部 1 消防署 2 出張所 2	実 員 114 定 員 115	実 員 714 定 員 757	市一般会計予算 43,145,000千円 消防費 1,208,446千円

	ポンプ車	はしご車等	救急車	消防水利
消防車両				
消防水利	署所 ポンプ車 7台 消防団 ポンプ車 26台	はしご車 1台 化学車 1台 救助工作車 2台 大型化学高所放水車 1台 泡原液搬送車 1台	高規格救急車 5台	消火栓 1,221 防火水槽 617

平成30年 統 計	火 災 件 数	救急出場件数	救助出場件数	119番着信件数
火災 救急 救助 119番				
	22件 (うち建物火災16件)	3,490件	65件	4,900件 (うち携帯電話1,794件)

	防火対象物	危険物施設	立入検査数	自 主 防 災
予 防				
自主防災	3,694施設	617施設数	防火対象物403回 危険物施設314回 (H30年度中)	幼・少年消防クラブ 45 女性防火クラブ 11 私設・自主消防団 30

は じ め に

平成17年11月1日に新湊市・小杉町・大門町・大島町・下村が合併し^{いみず}射水市となりました。

この年報は、射水市消防の現況と平成30年（度）中の消防行政に関する実態を統計的に収録し、今後の参考とするとともに、射水市消防を広く一般的に紹介することを目的として編集しました。

なお、諸表については、表の上部にそれぞれ記載した年月日をもって作成してあります。

この年報が消防機関はもとより、広く関係各位に利用され、消防行政の推進のための参考資料となれば幸いと存じます。

令和元年6月

射 水 市 消 防 本 部

目 次

○射水市消防ミニ概要

総 括 編

- 1 射水市の概況
 - (1) 位置及び面積1
 - (2) 市域の変遷及び人口の推移2
 - (3) 一般会計予算額と消防予算額との比較2
 - (4) 消防予算額と人口関係2
- 2 射水市消防の誕生
 - (1) 消防の起源2

総 務 編

- 1 組 織
 - (1) 組織図3
 - (2) 消防力の現有3
 - (3) 消防庁舎4～5
 - (4) 事務分掌6～8
 - (5) 消防相互応援協定の状況9
- 2 人 事
 - (1) 職員配置状況10
 - (2) 階級別年齢状況11
 - (3) 階級別勤続年数状況11
 - (4) 特殊技能資格取得状況12
 - (5) 諸手当状況12
 - (6) 消防関係表彰状況13
 - (7) 教養・研修状況14
- 3 通 信
 - (1) 無線局の現況15～16
 - (2) 通信施設系統図17
 - (3) 119 番着信状況18
 - (4) 消防テレホンガイド利用状況18
 - (5) 最近 5 年間の災害 119 番着信状況18
 - (6) 火災警報・注意報発令状況18

予 防 編

- 1 防火対象物
 - (1) 防火対象物の状況19
 - (2) 予防査察と防火管理の状況20
 - (3) 消防用設備等の設置状況21
 - (4) 建築同意事務処理件数22
 - (5) 予防関係届出状況22
- 2 危険物
 - (1) 危険物施設状況23
 - (2) 危険物規制事務の状況24
 - (3) 危険物施設別法規制25
- 3 広 報
 - (1) 広報活動状況26
 - (2) 住宅防火診断等の結果26

警 防 編

1 消防機関の出動	
(1) 災害等出動状況	27
2 機械及び施設	
(1) 消防車両の現況	28～29
(2) 特殊資器材の保有状況	30
(3) 消防水利の現況	31

統 計 編

1 火災統計	
(1) 最近 5 年間の火災概要	32
(2) 平成 30 年中の火災概要	33
(3) 出火原因別火災発生状況	34
(4) 火災による死傷者状況	35
2 救急統計	
(1) 最近 5 年間の救急概要	36
(2) 平成 30 年中の救急概要	37
(3) 医療機関別搬送人員状況	38
(4) 救急隊員の行った応急処置状況	39
3 応急手当普及啓発	
(1) 最近 5 年間の救命講習受講者数	40
(2) 対象者別受講状況	40
(3) 修了証交付状況	40
4 救助統計	
(1) 最近 5 年間の救助概要	41
(2) 事故種別救助活動状況	41

消 防 団 編

1 消防団組織図	42
2 階級別年齢状況	43
3 報酬・手当状況	44
4 在職年数状況	44
5 消防団員の職業構成及び就業形態別の状況	
(1) 消防団員の職業構成	44
(2) 就業形態別の状況	44

自 主 防 災 組 織 編

1 射水市危険物安全協会の現況	
(1) 会員数	45
(2) 活動概要	45
2 私設消防団等の現況	46
3 消防クラブの現況	
(1) 幼年消防クラブ	47
(2) 少年消防クラブ	47
4 女性防火クラブの現況	48
5 防火推進委員会の現況	48

総括編

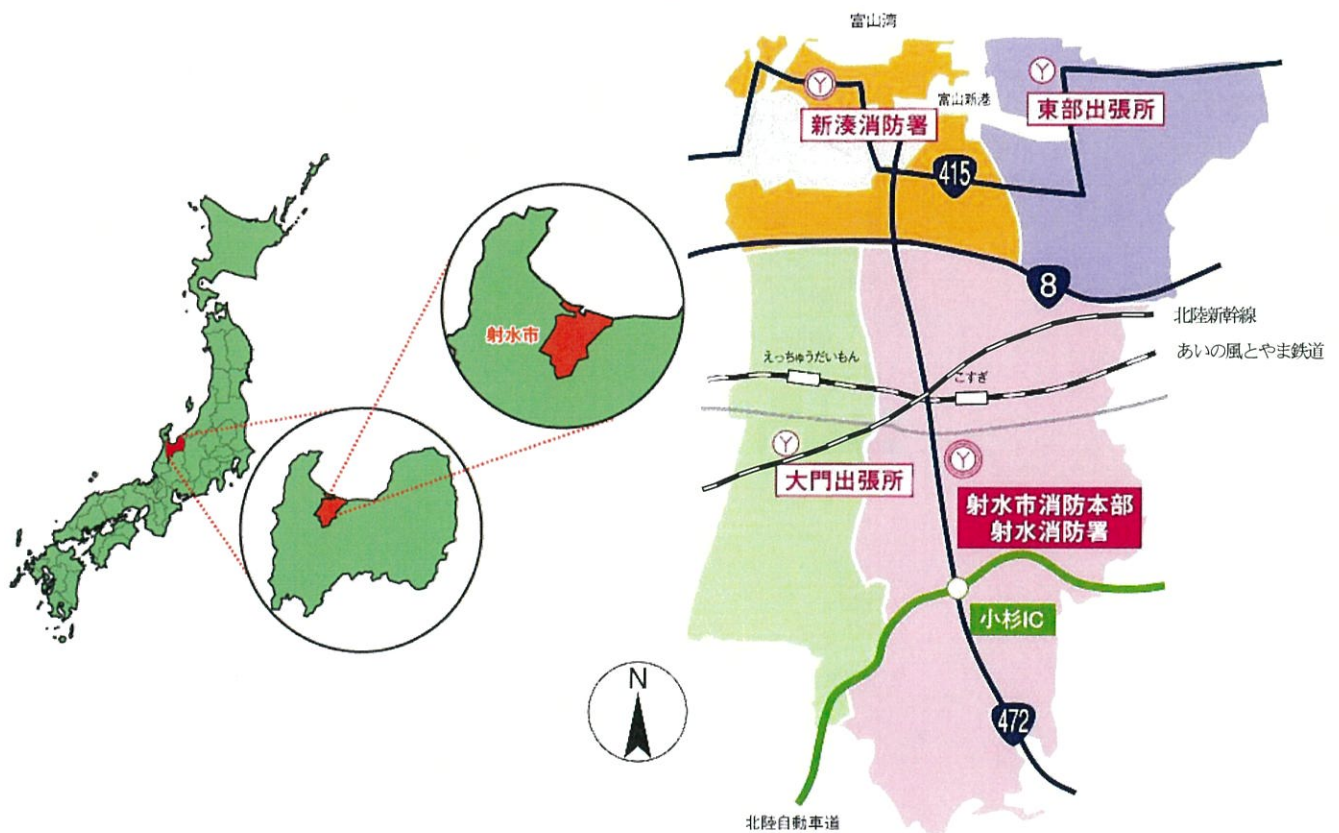
1 射水市の概況

(1) 位置及び面積

射水市は、環日本海交流地点である富山県のほぼ中央に位置しており、市の東は富山市、西は高岡市、南は富山市、砺波市に接し、北は日本海最大の湾である富山湾に面している。

面 積 km ²	距 離 (km)		位 置		
	東 西	南 北	方 位	地 名	経 緯 度
109.43	10.9	16.6	東 端 西 端 南 端 北 端	本 江 西 広 上 水 上 谷 庄 西 町 一 丁 目	東経137°11′ " 137°02′ 北緯 36°38′ " 36°47′

管内概要図



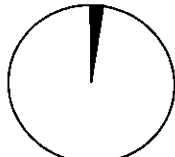
(2) 市域の変遷及び人口の推移（平成17年11月1日 1市3町1村が合併し射水市となった。）

平31. 4. 1現在

年 度	人 口(人)	世 帯 数(世帯)
平成27年度	94,404	33,764
平成28年度	94,147	34,077
平成29年度	93,717	34,462
平成30年度	93,343	34,768
令和元年度	92,867	35,225

※ 平成24年より外国人登録者数、世帯数を含む。

(3) 一般会計予算額と消防予算額との比較

種別	年度	令和元年度 (当初予算)
一 般 会 計	43,145,000千円	
消 防 費	1,208,446千円	
比 率	2.8%	

(4) 消防予算額と人口関係

種別	消防予算額 (単位：千円)	人 口 (人)	市民1人あたりの 消防費(円)	世 帯 数 (世帯)	1世帯あたりの 消防費(円)
令和元年度	1,208,446	92,867	13,013	35,225	34,306

2 射水市消防の誕生

(1) 消防の起源

慶長14年（1609年）、富山の大火に刺激されて旧新湊地内に火消しの組織ができたものと言われているが明らかでなく、史実としては明和年間各町に詰所を作り、2人若しくは8人の詰員をおいたとされる。当時としては周到なものであったと記録されている。

又、射水消防組合設立以前の射水郡内の消防実態は、昭和25年4月以前には管内に消防署はなく、富山県内としても常備消防の数は少なかったが、富山県の指導により小杉町に消防本部（署）が設置された。

一方、旧新湊市は昭和26年に新湊市消防本部が設立された。

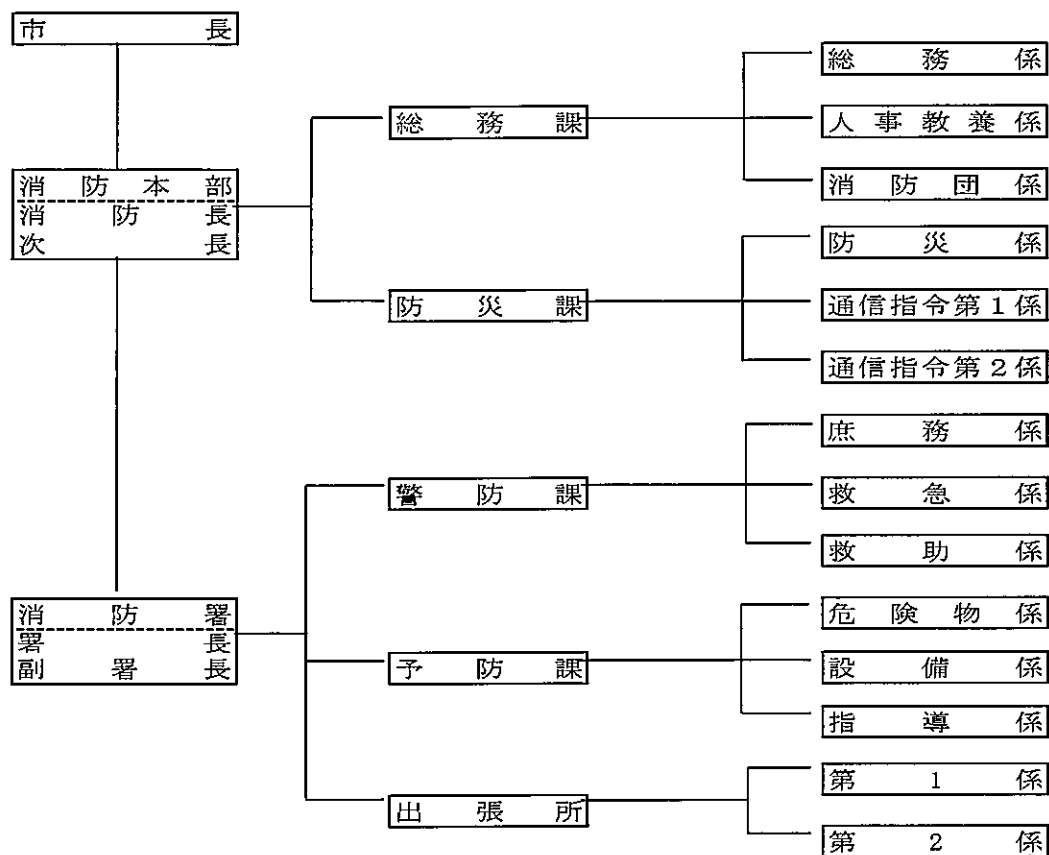
射水市消防本部の設置は、市町村合併（1市3町1村）の新市発足と同時に、それまでの射水消防組合消防本部庁舎を市消防本部とし、1本部2消防署2出張所体制でスタート、職員定数は115名となった。各署所には、消防ポンプ車・高規格救急車・救急救命士を配備し管内住民に均一な消防行政を行えるよう配備している。

総務編

1 組 織

(1) 組織図

平 3 1. 4. 1 現在



(2) 消防力の現有

平 3 1. 4. 1 現在

区 分		現 有	区 分		現 有
消防本部・署	消 防 署	2	消防団	屯 所	2 6
	出 張 所	2		消 防 団 員	7 1 4
	消 防 吏 員	1 1 4		消 防 ポ ン プ 自 動 車	2 6
	消防ポンプ自動車	7	消防水利	消 防 水 利 (消 火 栓) (防 火 水 槽)	1, 2 2 1 6 1 7
	は し ご 自 動 車	1			
	化 学 消 防 車	1			
	大型化学高所車	1			
	泡原液搬送車	1			
	救 急 自 動 車	5			
	救 助 工 作 車	2			
	指 揮 車	2			

(3) 消防庁舎

射水市消防本部 ・ 射水消防署

〒939-0332 射水市橋下条1522番地



代 表 電 話	0766-56-0119
F A X	0766-56-9543 0766-56-9542
火災問合専用 E メール	0766-56-9939 fire@city.imizu.lg.jp

射水消防署（併設） 平成17年3月31日竣工

敷 地 面 積	庁 舎 4,960m ² 訓練場 5,284m ²
建 築 構 造	鉄骨造3階建（一部平屋建）
付 帯 設 備	通信塔（高さ地上45m）
庁 舎 延 面 積	2,906.90m ²
訓 練 塔 概 要	A塔5階建127.59m ² B塔3階建240.00m ² C塔3階建132.00m ²

射水消防署大門出張所

〒939-0234 射水市二口1081番地



代 表 電 話	0766-52-0119
F A X	0766-52-6711

平成18年12月27日竣工

敷 地 面 積	1,998.29m ²
建 築 構 造	鉄骨造2階建（一部平屋建）
庁 舎 延 面 積	575.74m ²

新湊消防署

〒934-0011 射水市本町二丁目13番1号



代 表 電 話 0766-82-8333

F A X 0766-82-6826

平成20年12月5日竣工

敷 地 面 積 4, 133. 98 m²

建 築 構 造 鉄骨造 3 階建（一部平屋建）

庁 舎 延 面 積 2, 396. 42 m²

訓 練 塔 概 要 鉄骨造 2 階建 270. 00m²

新湊消防署東部出張所

〒939-0225 射水市草岡町二丁目52番地



代 表 電 話 0766-86-0119

F A X 0766-86-0851

昭和54年8月31日竣工

平成30年12月10日大規模改修

敷 地 面 積 2, 386. 50m²

建 築 構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建（一部平屋建）

庁 舎 延 面 積 587. 02m²

(4) 事 務 分 掌

ア 消 防 本 部

総務課	総務係	1 公印の管守に関する事。 2 予算、決算及び経理に関する事。 3 物品の購入、出納及び保管に関する事。 4 財産等の維持管理に関する事。 5 文書の收受発送に関する事。 6 条例、規則、規定等の制定改廃に関する事。 7 補助事業に関する事。 8 その他他課係の主管に属しない事務に関する事。
	人事教養係	1 職員及び団員の人事・教養に関する事。 2 職員及び団員の福利厚生に関する事。 3 職員及び団員の給貸与品に関する事。 4 職員及び団員の公務災害補償に関する事。 5 職員及び団員の表彰に関する事。 6 消防職員委員会に関する事。
	消防団係	1 団員の組織に関する事。 2 消防団の会議に関する事。 3 消防団の研修、服務に関する事。 4 消防協会に関する事。 5 その他消防団に関する事。
防災課	防災係	1 災害の警戒及び防ぎょ計画に関する事。 2 総合防災訓練に関する事。 3 消防施設整備計画に関する事。 4 消防計画に関する事。 5 救急・救助業務に関する事。 6 緊急消防援助隊に関する事。 7 消防機械及び装備の整備に関する事。 8 防災会議等の関係機関との連絡調整に関する事。 9 自主防災組織の訓練等に関する事。 10 消防水利に関する事。 11 予防業務の決裁事務に関する事。
	通信指令 第1係 第2係	1 火災・救急・救助出動の指令管制に関する事。 2 気象警報等の発令に関する事。 3 通信施設等の維持管理に関する事。 4 消防統計に関する事。 5 災害弱者等の支援情報に関する事。 6 消防相互応援協定に関する事。 7 消防施設整備計画に関する事。 8 消防用水、水道の断滅水、道路工事又は占有の届出に関する事。

イ 消 防 署

警防課	庶務係	1 公印の管守に関すること。 2 予算及び経理に関すること。 3 物品の購入、出納及び保管に関すること。 4 財産等の維持管理に関すること。 5 文書の收受発送に関すること。 6 職員及び団員の庶務に関すること。 7 消防水利の維持管理に関すること。
	救急係	1 救急対策に関すること。 2 救急技術の指導及び訓練に関すること。 3 救急資器材の維持管理に関すること。 4 医療機関との連絡調整に関すること。 5 救急統計に関すること。 6 応急手当の普及啓発に関すること。 7 メディカルコントロール協議会に関すること。
	救助係	1 救助対策に関すること。 2 救助技術の指導及び訓練に関すること。 3 救助統計に関すること。 4 消防機械装備の維持管理に関すること。 5 消防訓練及び消防操法に関すること。 6 警防計画（防ぎょ計画）に関すること。 7 水難救護に関すること。 8 消防警備に関すること。 9 自主防災組織の指導育成に関すること。
予防課	危険物係	1 危険物の許可及び届出に関すること。 2 危険物取扱者に関すること。 3 危険物施設の立入検査及び指導に関すること。 4 石油コンビナートに関すること。 5 少量危険物及び指定可燃物の貯蔵又は取扱いの届出に関すること。 6 液化石油ガスその他高圧ガスに関すること。 7 炉、厨房設備、温風暖房機、ボイラー、給湯湯沸設備、乾燥設備、サウナ設備、ヒートポンプ冷暖房機、火花を生ずる設備及び放電加工機の届出に関すること。
	設備係	1 建築物の許認可及び同意事務に関すること。 2 消防用設備等の届出及び検査に関すること。 3 消防設備士に関すること。 4 防火対象物の立入検査及び指導に関すること。 5 防火（防災）管理者及び消防計画に関すること。 6 消防用設備等点検結果報告に関すること。 7 喫煙及び裸火の使用並びに危険物品の持込みの例外適用に関すること。 8 防火対象物の使用届出に関すること。 9 変電設備、発電設備、蓄電池設備、ネオン管灯設備及び水素ガスを充てんする気球の設置の届出に関すること。

予防課	指導係	1 火災の原因調査及び損害調査に関すること。 2 火災統計に関すること。 3 消防広報に関すること。 4 幼年、少年消防クラブ及び女性防火クラブ等の指導に関すること。 5 危険物安全協会に関すること。 6 住宅防火対策に関すること。 7 催物の開催、露店の開設及び物件の搬出の届出に関すること。 8 指定洞道等の届出に関すること。 9 火災と紛らわしい煙及び火炎を発するおそれのある行為及び煙火の打ち上げ又は仕掛けの届出に関すること。
出張所		1 職員の庶務に関すること。 2 住宅防火対策に関すること。 3 消防水利の維持管理に関すること。 4 救急資機材の維持管理に関すること。 5 消防機械装備の維持管理に関すること。 6 警防計画・防ぎょ計画に関すること。

(5) 消防相互応援協定の状況

応援協定の名称	協定年月日	協 定 の 内 容
富山県市町村消防相互応援協定	S 4 4 . 2 . 7	協定市町村（県下15市町村） 相互応援の種類 (1) 火災防ぎよのための消防隊の派遣 (2) 大規模な災害事故における救助隊及び救急隊の派遣 (3) その他の災害に際し防ぎよに必要な人員及び資器材の援助
船舶火災の消防活動に関する業務協定	S 4 8 . 5 . 1 7	協定関係市町（9関係市町） ・伏木海上保安部 ・富山市 ・高岡市 ・魚津市 ・氷見市 ・滑川市 ・黒部市 ・入善町 ・朝日町 区域 関係市町それぞれの行政区域に属する沿岸水域（港湾及び漁港を含む）とする。 消火活動の担任区分 (1) ふ頭岸壁等にけい留された船舶、上架及び上渠中における船舶の消火活動は主として関係の消防機関が担当するものとし、伏木海上保安部はこれに協力するものとする。 (2) 上記以外の船舶の消火活動は主として伏木海上保安部が担任するものとし、関係の消防機関はこれに協力するものとする。
石油コンビナート等特別防災区域消防相互応援協定	S 5 4 . 1 1 . 1	協定市町（2市） ・富山市 ・高岡市 対象とする災害 (1) 火災、爆発、石油等の漏えい又は流出その他の事故が発生した場合 (2) 爆発等により多数の死傷者が発生した場合 (3) その他、前2号に準ずる災害が発生した場合
富山県消防防災ヘリコプター支援協定	H 1 6 . 4 . 1	協定（富山県） 協定区域 市町村等が航空機の支援を求めることができる区域は、市町村等の区域とする。 要求の範囲 (1) 災害が、隣接する市町村等に拡大し、又は影響を与える恐れのある場合 (2) 発災市町村等の消防力によっては、防ぎよが著しく困難と認められる場合 (3) その他救急搬送等緊急性があり、かつ、航空機による活動が最も有効な場合
高速自動車国道北陸自動車道応援協定	H 1 7 . 1 1 . 2 8	協定関係市町（2市1組合） ・富山市 ・高岡市 ・砺波地域消防組合消防本部 区域 小杉 IC から高岡砺波スマート IC 上り線は射水市消防本部 高岡砺波スマート IC から小杉 IC 下り線は砺波地域消防組合消防本部 富山西 IC から小杉 IC 上り線は富山市消防局 小杉 IC から富山西 IC 下り線は射水市消防本部
集団救急相互応援協定	H 2 7 . 1 0 . 1	協定関係市町（2市1組合） ・高岡市 ・氷見市 ・砺波地域消防組合消防本部
消防に関する業務協定	H 2 9 . 1 2 . 2 0	協定（伏木海上保安部） ・射水市沿岸海域及びその沿岸部で災害が発生した場合、相互が協力して消火、捜索、救助等を実施する。

※ 協定の内容については、現在の市町村名で表記しました。

2 人 事

(1) 職員配置状況

平 3 1 . 4 . 1 現在

組 織		階 級	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	消防 職員	小 計
消 防 本 部	消 防 長		1								1
	消 防 次 長			1							1
	總務課	課長・課長補佐		1		1					2
		總 務 係				1	1				2
		消 防 団 係				(1)					(1)
		人 事 教 養 係								1	1
		派 遣				1	1		2		4
	防災課	課長・課長補佐		1		2					3
		防 災 係				1	1				2
		通信指令第 1 係				(1)	3		1		4 (1)
		通信指令第 2 係				1	3				4
	小 計		1	3		7 (2)	9		3	1	24 (2)
射 水 消 防 署	署 長			1							1
	副 署 長				1						1
	警防課	課長・主幹・課長補佐			1 (1)	1					2 (1)
		庶 務 係				1	2	1			4
		救 急 係				1	1	1	2		5
		救 助 係				1	1	1	1		4
	予防課	課長・主幹・課長補佐			2	1					3
		危 険 物 係				1	1		3		5
		設 備 係				1	1		4		6
		指 導 係				1	1	2			4
	大門出張所	所長・所長代理			(1)	1					1 (1)
		第 1 係				1	2		2		5
		第 2 係				1	2	1	1		5
	小 計			1	4 (2)	1 1	1 1	6	1 3		46 (2)
新 湊 消 防 署	署 長			1							1
	副 署 長				1						1
	警防課	課長・主幹・課長補佐			1 (1)	1					2 (1)
		庶 務 係				1	2		1		4
		救 急 係				1	1		2		4
		救 助 係				1	1		2		4
	予防課	課長・主幹・課長補佐			2	1					3
		危 険 物 係				1	1	1	2		5
		設 備 係				1	1		3		5
		指 導 係				1	1	1	1		4
	東部出張所	所長・所長代理			(1)	1					1 (1)
		第 1 係				1	2		2		5
		第 2 係				1	2		2		5
	小 計			1	4 (2)	1 1	1 1	2	1 5		44 (2)
合 計			1	5	8 (4)	29 (2)	3 1	8	3 1	1	114 (6)
条 例 定 員			1 1 5								

※ 欄の()は兼任。

※ 富山県消防学校、富山県防災航空センター、高岡市消防本部派遣者含む。

※ 市役所出向者は含まない。

(2) 階級別年齢状況

平31.4.1現在

階級 年 齢	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	消 防 員	合 計
20 歳 未 満							1		1
20 歳以上～25 歳未満							16		16
25 歳以上～30 歳未満					2	6	13		21
30 歳以上～35 歳未満					15	2	1		18
35 歳以上～40 歳未満					9				9
40 歳以上～45 歳未満				11	4				15
45 歳以上～50 歳未満			4	14				1	19
50 歳以上～55 歳未満		2	3		1				6
55 歳 以 上	1	3	1	4					9
合 計	1	5	8	29	31	8	31	1	114
平 均 年 齢 (歳)	59.0	55.8	50.5	30.5	34.9	28.6	24.3	47.0	36.9

(3) 階級別勤続年数状況

平31.4.1現在

階級 年 数	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	消 防 員	合 計
5 年 未 満						2	19		21
5 年以上～10 年未満					4	3	12		19
10 年以上～15 年未満					14	3			17
15 年以上～20 年未満				4	10				14
20 年以上～25 年未満				6	2				8
25 年以上～30 年未満		1	4	15				1	21
30 年以上～35 年未満		2	3	1	1				7
35 年 以 上	1	2	1	3					7
合 計	1	5	8	29	31	8	31	1	114
平均勤続年数(年)	37.0	34.0	30.5	26.1	14.5	7.6	3.9	25.0	16.3

(4) 特殊技能資格取得状況

平31. 4. 1現在

種 別		取 得 者 数	
車 両	大 型 （ 普 通 ）	8 1	
	中 型	1	
	普 通	3 2	
2 級 小 型 船 舶 操 縦 士		2 8	
潜 水 士		3 1	
自 整 備 車 士	2 級	ガ ソ リ ン	2
		デ ィ ー ゼ ル	3
無 線 技 士		第 2 級	1 1 0
		レ ー ダ ー	1
小 型 移 動 式 ク レ ーン 講 習		6 7	
玉 掛 技 能 講 習		9 1	
ガ ス 溶 接 作 業 者		1 3	
タンク底部板厚測定講習		2	
特定化学物質等作業主任者		8	

種 別		取 得 者 数
救 急 救 命 士		43
認 定	気 管 挿 管	24
	薬 剤 投 与	27
救 急 隊 員	標 準 課 程	61
	Ⅱ 課 程	8
	応 急 手 当 指 導 員	79
	外傷セミナー受講者 (JPTEC)	80
	集団災害研修受講者 (MCLS)	31
危 険 物 取 扱 者	甲 種	2
	乙 種	88
	丙 種	7
消 防 設 備 士 乙 種	6 類	11
	7 類	1
予 防 技 術 検 定	防 火 査 察	43
	消 防 用 設 備	16
	危 険 物	22

(5) 諸手当状況

平31. 4. 1現在

手 当	単 位	金 額		手 当	単 位	金 額	
火災・救助出動	1回	はしご隊員	300円	救 急 出 場	1回	救急救命士	500円
		その他隊員	200円			救急救命士 (不搬送時)	200円
潜水業務	1回	潜水隊員	1,500円			その他隊員	200円
災害業務手当	日額	緊急消防援助隊派遣隊員	500円	海上危険	1回	隊 員	1,000円

(6) 消防関係表彰状況

平30. 4. 1～平31. 3. 31

表彰者とその種別		被表彰者	消防 吏員	元 吏 消 防 員	消 防 団 員	元 団 消 防 員	一 般 人	団 体
叙 勲	叙 勲 瑞 宝 単 光 章					4		
	危 険 業 務 従 事 者 叙 勲 瑞 宝 双 光 章			1				
消 防 庁 長 官	永 年 勤 続 功 労 章		1		4			
	功 労 章							
県 知 事	顕 功 章				1			
	功 績 章				2			
	精 勤 章		1		7			
	無 火 災 表 彰							7
	現 場 表 彰				24			
	退 職 消 防 団 員 報 償					5		
	感 謝 状							1
市 長	市 政 功 労				6			1
日 本 消 防 協 会 長	功 績 章							
	精 績 章				3			
	勤 続 章		3		13			
県 消 防 協 会 長	功 績 青 花 章				4			
	功 績 黄 花 章				4			
	勤 続 緑 花 章		1		22			
	勤 続 銀 章				32			
	赤 色 章				3			
	青 色 章				1			
	黄 色 章							
	永 年 勤 続 退 職 者 感 謝 状			2		12		
全 国 消 防 長 会	永 年 勤 続 功 労							
	特 別 功 労							

(7) 教養・研修状況

平31. 3.31現在

区 分 \ 年 度		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	計
消防 大学 校	新 任 消 防 長 科						
	予 防 科						
	火 災 調 査 科			1			1
	新 任 教 官 科	1			1		2
	幹 部 科	1	1	1	2	1	6
県 消 防 学 校	初 任 科	7	6	7	4	2	26
	危 険 物 課 程		2		2		4
	予 防 査 察 科	2		2		2	6
	火 災 調 査 科		2		2		4
	救 助 科		2		2		4
	救 急 科	4	3	3	3	2	15
	機 関 員 養 成 講 習	3	4	4	4	3	18
	水 難 救 助 科	2		2		2	6
	特 殊 災 害 科	2		2		2	6
	警 防 科	2	2	2	2	2	10
	初 級 幹 部 科	2		2		2	6
	中 級 幹 部 科		2		2		4
	上 級 幹 部 科	2		2		2	6
そ の 他	救 急 救 命 研 修 所		1	1			2
	指 導 救 急 救 命 士 講 習		1				1
	薬 剤 投 与 追 加 講 習		2				2
	救命士追加講習(2処置)	5	5	5	5	5	25
	玉 掛 技 能 講 習	2	2	2	2	2	10
	小型移動式クレーン運転技能講習	2	2	2	2	2	10
	ガス溶接作業技能講習						
	二級小型船舶操縦士技能講習	1		1	1	1	4

(1) 無線局の現況

本部・署所

平成31.4.1現在

配置	呼び出し名称	種別	実装波								出力	備考
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		
本部	いみずほんぶ	基地局	○								10w	第1装置
				○							"	第2装置
					○						"	第3装置
						○					"	第4装置
							○	○	○		"	第5装置
			○	○	○	○	○	○	○		"	第6装置
射水	いみず しき	1	○	○	○	○	○	○	○		10w	指揮車
	"	1	○	○	○	○	○	○	○		"	普通ポンプ車
	"	2	○	○	○	○	○	○	○		"	水槽付ポンプ車
	" かがく	1	○	○	○	○	○	○	○		"	化学車
	" はしご	1	○	○	○	○	○	○	○		"	梯子車
	" きゅうじょ	1	○	○	○	○	○	○	○		"	救助工作車
	" はんそう	1	○	○	○	○	○	○	○		"	搬送車
	" しえん	1	○	○	○	○	○	○	○		"	支援車
	" ささつ	1	○	○	○	○	○	○	○		"	査察車
	" "	2	○	○	○	○	○	○	○		"	"
	" きゅうきゅう	1	○	○	○	○	○	○	○		"	高規格救急車
	" "	3	○	○	○	○	○	○	○		"	"
	" 101~114		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
大門	いみず	3	○	○	○	○	○	○	○		10w	普通ポンプ車
	" きゅうきゅう	2	○	○	○	○	○	○	○		"	高規格救急車
	" 201~204		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
新湊	いみず しき	2	○	○	○	○	○	○	○		10w	指揮車
	"	4	○	○	○	○	○	○	○		"	水槽付ポンプ車
	"	5	○	○	○	○	○	○	○		"	普通ポンプ車
	"	6	○	○	○	○	○	○	○		"	普通ポンプ車
	" きゅうじょ	2	○	○	○	○	○	○	○		"	救助工作車
	" げんえき	1	○	○	○	○	○	○	○		"	泡原液搬送車
	ぼうそういみずしょうぼう	2								○	"	"
	いみず ささつ	3	○	○	○	○	○	○	○		"	査察車
	" きゅうきゅう	4	○	○	○	○	○	○	○		"	高規格救急車
	" しんみなとしょうぼう	1	○	○	○	○	○	○	○		"	卓上型
	" 301~312		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
東部	ぼうそういみずしょうぼう103									○	"	"
	いみず	7	○	○	○	○	○	○	○		10w	普通ポンプ車
	" きゅうきゅう	5	○	○	○	○	○	○	○		"	高規格救急車
	" こうしょ	1	○	○	○	○	○	○	○		"	屈折放水塔車
	ぼうそういみずしょうぼう	1								○	"	"
	いみず 401~404		○	○	○	○	○	○	○		5w	携帯型
	ぼうそういみずしょうぼう101, 102									○	"	"

実装波
(デジタル) ①活動波 1
②活動波 2
③活動波 3
④主運用波

⑤統制波 1 (アナログ) ⑧防災相互波
⑥統制波 2
⑦統制波 3

配置	呼び出し名称	種別	実装波							出力	備考
			①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		
北部方面団	ほうじょうづ ぶんだん	1	○	○	○	○	○	○	○	10w	普通ポンプ車
	しんみなと	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しょうせい	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	つかはら	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	つくりみち	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	かたぐち	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しちみ	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ほりおか	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	えびえ	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ほんごう	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
南部方面団	ひばり ぶんだん	1	○	○	○	○	○	○	○	10w	普通ポンプ車
	さんが	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	はしげじょう	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	かなやま	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	おうご	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	くろがわ	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	いけだ	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	たいこうやま	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	なかみなみたいこうやま	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	だいもん	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	くした	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	あさい	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	みとだ	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	ふたくち	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	おおしま	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃
	しも	1	○	○	○	○	○	○	○	〃	〃

実装波

(デジタル) ①活動波 1
 ②活動波 2
 ③活動波 3
 ④主運用波

⑤統制波 1
 ⑥統制波 2
 ⑦統制波 3

【消防本部】



(3) 119番着信状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
火 災	0	7	1	12	7	2	10	2	0	4	3	7	55
救 急	285	250	261	243	250	236	303	291	263	266	231	298	3,177
救 助	1	2	5	0	5	1	3	2	2	2	4	2	29
警戒等	13	2	9	8	6	6	6	9	13	12	2	3	89
他市転送	10	8	9	8	11	7	15	17	11	5	12	3	116
間違い	30	14	34	23	23	26	23	25	25	17	28	26	294
いたずら	0	0	1	1	0	2	0	0	0	0	2	0	6
その他	71	49	141	103	98	128	81	64	87	109	123	80	1,134
合 計	410	332	461	398	400	408	441	410	401	415	405	419	4,900
119FAX	2	0	1	7	2	3	0	1	2	2	1	1	22

※その他とは、訓練通報、試験、問合せ、その他をたしたもの

(4) 消防テレホンガイド利用状況

種別 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合 計
消防テレホン ガイド受信数	764	899	1,877	1,653	968	747	1,570	896	886	961	1,031	1,042	13,294

(5) 最近5年間の災害119番着信状況

災害種別	年	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
			計		計		計		計		計
固定電話	火 災	4	921	10	848	8	843	8	845	13	851
	救 急	864		795		785		777		791	
	救 助	15		8		15		11		14	
	警 戒 等	38		35		35		49		33	
IP電話	火 災	3	953	11	1,010	6	1,024	10	1,176	15	1,248
	救 急	930		988		1,004		1,154		1,216	
	救 助	3		3		3		3		1	
	警 戒 等	17		8		11		9		16	
携帯電話	火 災	4	797	28	935	24	1,005	11	1,097	27	1,251
	救 急	742		865		932		1,030		1,170	
	救 助	10		15		22		19		14	
	警 戒 等	41		27		27		37		40	
合 計			2,671		2,793		2,872		3,118		3,350

(6) 火災警報・注意報発令状況

火 災 注 意 報 発 令	2 回
火 災 警 報 発 令	0 回

予 防 編

1 防 火 対 象 物

(1) 防火対象物の状況

平31. 4. 1現在

令別表区分 区 分			法 17 条 対 象 物 (150 m以上)	中 高 層 建 築 物						計
				3階	4階	5階	6階	7階以上	31m以上	
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	8		1					1
	ロ	公会堂又は集会場	95	8						8
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1	1						1
	ロ	遊技場又はダンスホール	8			1				1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗								
	ニ	カラオケボックスその他遊興								
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの	10	1						1
	ロ	飲食店	73	4						4
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	178	9	1					10
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	20	2				1		3
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	428	71	42	14	2	4		133
6	イ	病院・診療所又は助産所	72	10	4	2		1		17
	ロ	老人短期入所施設等	46	5	2			1		8
	ハ	老人デイサービスセンター等	69	1	1					2
	ニ	幼稚園・特別支援学校	5							
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	98	23	8	2		1		34
8		図書館・博物館・美術館	6							
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1							
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	8	1						1
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場	3							
11		神社・寺院・教会	125	1	1		1	1		4
12	イ	工場又は作業場	965	38	4	2		1		45
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ								
13	イ	自動車車庫又は駐車場	80							
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫								
14		倉庫	666	8	7	1				16
15		全各号に該当しない事業場	574	40	14	3	2			59
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	75	18	4	4	2			28
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	78	11	3					14
17		文化財	2							
合 計			3,694	252	92	29	7	10		390

(2) 予防査察と防火管理の状況

平31. 4. 1現在

令別表区分 区 分			査察 件数	防 火 管 理 者			消 防 計 画	
				選任必要対象物		届出数	届出率 (%)	届出数
				甲	乙			
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	4	6		6	100	6
	ロ	公会堂又は集会場	23	60	48	73	68	63
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ	1		1	1	100	1
	ロ	遊技場又はダンスホール	5	8		8	100	8
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗						
	ニ	カラオケボックスその他遊興						
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの	3	8	3	10	91	9
	ロ	飲食店	57	23	36	38	64	29
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	62	76	32	74	69	63
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	4	11	1	12	100	12
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	1	42	3	17	38	11
6	イ	病院・診療所又は助産所	12	26	2	26	93	26
	ロ	老人短期入所施設等	21	42		42	100	42
	ハ	老人デイサービスセンター等	38	38	5	43	100	43
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	5		5	100	5
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	18	42		41	98	40
8		図書館・博物館・美術館	2	1	2	2	67	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1	1		1	100	1
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	2	5	5	8	80	7
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場						
11		神社・寺院・教会	11	84	21	27	26	21
12	イ	工場又は作業場	44	99		93	94	74
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫又は駐車場		5		5	100	5
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫						
14		倉庫	12	30	1	27	87	21
15		全各号に該当しない事業所	42	91	13	93	89	83
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	32	46	4	33	66	29
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	3	25		20	80	20
17		文化財	2	1	1	1	50	1
合 計			403	775	178	706	74	622

(3) 消防用設備等の設置状況

平31. 4. 1現在

消防用設備等 令別表区分			屋内 消火栓 設備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 消 火 設 備 等	動 力 消 防 ポ ンプ 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	漏 電 火 災 警 報 器	火 災 報 知 設 備 消 防 機 関 へ 通 報 す る	非 常 警 報 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	連 結 送 水 管	消 防 用 水
1	イ	劇場・映画館・演芸場又は観覧場	5					7			5		8		
	ロ	公会堂又は集会場	10	1				64		2	86	7	109		
2	イ	キャバレー・カフェ・ナイトクラブ									1		1		
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	1	1			8		1	6	1	7	1	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗													
	ニ	カラオケボックスその他遊興													
3	イ	待合・料理店その他これらに類するもの	2					7				3	9		
	ロ	飲食店	1					20			26	7	69		
4		百貨店・マーケット・物品販売業を営む店舗	12	6	2		1	82	1		44		147		2
5	イ	旅館・ホテル又は宿泊所	3					19	2	6	2	4	17	1	
	ロ	寄宿舎・下宿又は共同住宅	9					53	1	4	9	88	9	6	
6	イ	病院・診療所又は助産所	2	6	1	6		32	1	11	6	5	63	2	
	ロ	老人短期入所施設等	1	43	1			46		46	16	6	46	1	
	ハ	老人デイサービスセンター等	6	2				47		24	14	3	67		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1					5					5		
7		小・中学校・高等学校・高専・各種学校	53		1		2	82	2	8	16	15	12	1	1
8		図書館・博物館・美術館	1		1			2			1		2		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場その他これらに類するもの	1					1		1	1		1		
	ロ	イ、に掲げる公衆浴場以外の公衆浴場						4	3		5		7		
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場						1							
11		神社・寺院・教会	3		1		2	6	1		53		7	2	1
12	イ	工場又は作業場	198		20		45	492	2			3	72	1	33
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫又は駐車場						4					24		
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫			4			5			1				
14		倉庫	110		2		13	297				4	84		8
15		全各号に該当しない事業所	54		7		4	126	1	4	70	16	56	2	1
16	イ	1～4、5イ、6、9イの複合用途防火対象物	9	8	1		1	53	2	10	21	24	47	3	1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	17		1		7	38	1		2	1	7		3
17		文化財						2			1		1		
合計（対象物）			502	67	43	6	75	1,503	17	117	386	187	877	20	50

(4) 建築同意事務処理件数

内 訳 \ 年 度		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
新	築	329	373	329	224	133
増	築	56	28	41	41	44
改	築	2	2	2	2	
移	転		1		1	
用 途 変 更		4	4	5		5
そ の 他						
合 計		391	408	377	268	182

(5) 予防関係届出状況

区 分 \ 年 度		平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度
消 防 法	防 火 管 理 者 選 (解) 任	138	123	131	131	174
	消 防 計 画 作 成 (変 更)	187	162	171	187	205
	消 防 用 設 備 等	409	401	439	464	394
	消防用設備等点検結果報告	669	608	530	719	657
	圧縮アセチレンガス等	16	20	22	11	14
射 水 市 火 災 予 防 条 例	防火対象物の使用開始	82	94	103	131	110
	炉 ・ ボ イ ラ ー	11	29	33	9	25
	ヒートポンプ冷暖房機		2		1	3
	乾燥設備、サウナ設備	1	2	4	9	7
	火花を生じる設備					
	放 電 加 工 機					
	発電、変電、蓄電池設備	48	49	61	63	46
	水素ガスを充てんする気球					
	ネオン管灯設備					
	少量危険物	34	37	46	42	51
	指定可燃物	15	4	8	14	13
	火災とまぎらわしい煙	75	88	96	98	66
	煙火打上げ、仕掛け	18	13	17	16	16
	催 物 開 催	10	25	17	13	24
	用水、水道の断水、減水	32	18	11		3
	道路使用、工事及び露店開設	239	288	340	31	299
	例 外 適 用	7	12	13	14	19
合 計		1,991	1,975	2,042	1,953	2,126

2 危 険 物

(1) 危険物施設状況

平31. 4. 1現在

製造所等 倍 数 等		製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				合 計
			屋 内	屋 外 タン ク	屋 内 タン ク	地 下 タン ク	簡 易 タン ク	移 動 タン ク	屋 外	給 油	販 売	移 送	一 般	
倍 数 別	5 倍以下		36	24	5	43	2	96	6	5			40	257
	5 倍を超え 10 倍以下	2	19	28	2	30		1	1	7			28	118
	10 " 50 "	5	6	40		16		5	1	45	1		16	135
	50 " 100 "		5	15		4		6		5			3	38
	100 " 150 "	1		4						6			1	12
	150 " 200 "			4		1				11				16
	200 " 1000 "	1	1	7						14				23
	1000 " 5000 "	1	1	1				1					2	6
	5000 倍を超えるもの		2	8								1	1	12
合 計		10	70	131	7	94	2	109	8	93	1	1	91	617
類 別	第 1 類		2										1	3
	第 2 類	2	3											5
	第 3 類		1	1				1						3
	第 4 類	5	60	130	7	94	2	108	8	93	1	1	87	596
	第 5 類													
	第 6 類													
混 在		3	4										3	10
合 計		10	70	131	7	94	2	109	8	93	1	1	91	617

(2) 危険物規制事務の状況

平30. 4. 1～平31. 3. 31

製造所等 法規制等		製造所	貯 蔵 所							取 扱 所				その他	合計
			屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	移送	一般		
許可	設置					1		2					2		5
	変更	6		3		4		5		15			37		70
完成検査 前検査	溶接			1											1
	水張・水圧			1											1
完成検査	設置			1				2							3
	変更	5		3		4		5		15			32		64
仮貯蔵・仮取扱														47	47
仮使用		7		3		3				10			40		63
氏名・名称・住所変更			4	22		12			2	9			23		72
種類・数量変更			1	2				1					7		11
廃止				1	4	4		2		2			5		18
保安監督者選任・解任		1	6	8		3			3	9		1	13		44
工事施工				3						3			269		275
予防規程制定・変更			1	13		1			2	7		1	5		30
公安委員会通報													7		7
譲渡・引渡								2							2
使用休止・再開				2		1				4					7
施設変更		4	1	3				12		32			39		91
保安検査				2											2
立入 検査	施設数	6	24	25	3	12		83	5	26		1	21	10	216
	延回数	7	32	59	3	21		108	7	29		1	37	10	314
	延人員	22	75	159	10	57		332	19	66		3	101	32	876

(3) 危険物施設別法規制

平31. 4. 1現在

法規制等 製造所等		危険物施設数	危険物を要する保安監督者設	危険物を要する施設保安員設	予防規程作成を要設	保安検査を要する設	定期点検を要する設
製造所		10	10	3	8		8
貯蔵所	屋内貯蔵所	70	60		4		4
	屋外タンク貯蔵所	131	131		18	7	18
	屋内タンク貯蔵所	7					
	地下タンク貯蔵所	94	11				94
	簡易タンク貯蔵所	2	2				
	移動タンク貯蔵所	109					108
	屋外貯蔵所	8					
	小計	421	204		22	7	224
取扱所	給油取扱所	93	93		32		91
	販売取扱所	1	1				
	移送取扱所	1	1	1	1	1	1
	一般取扱所	91	62	4	21		22
	小計	186	157	5	54	1	114
合計		617	371	8	84	8	346
事業所の数		255					

3 広 報

(1) 広報活動状況

活 動 内 容	年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
防 火 教 室		23	23	33	54	29
防 火 パ レ ー ド		2	2	2	4	2
巡 回 広 報		243	144	172	565	367
避 難 訓 練		385	190	331	511	334
初 期 消 火 訓 練		349	188	329	437	284
合 計		1,002	547	869	1,571	1,016

(2) 住宅防火診断等の結果

区 分	年 度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調 査 自 治 会 数		69	187	81	255	147
調 査 戸 数		2,282	4,133	2,981	2,539	1,620
指 示 事 項	ガ ス 関 係	1	4	53	14	18
	石 油 関 係	17	27	18	12	18
	暖 房 器 具	5	6	13	14	3
	そ の 他	1,071	2,062	1,722	1,439	794
合 計		1,094	2,099	1,806	1,479	833

警 防 編

1 消 防 機 関 の 出 動

(1) 災害等出動状況

平30. 1. 1～12. 31

出 動 区 分	消 防 署		消 防 団	
	回 数	出 動 延 人 員	回 数	出 動 延 人 員
火 災	2 2	4 4 2	1 9	7 6 3
救 急	3, 4 9 0	1 0, 5 4 2		
救 助 活 動	6 5	4 1 7	1	2
風水害等の災害	3 7	1 8 4	9	3 6
捜 索	6	2 1	2	2 7
特 別 警 戒	7 6	1 3 5	6 1	2, 8 2 2
演 習・訓 練 等	3 0	5 5 1	3 7	2, 8 0 9
広 報・指 導	6 2 6	1, 5 2 2	6 5 1	5, 7 9 2
警 防 調 査	1 4 2	3 2 1	3 7	5 8 0
火 災 原 因 調 査	3 0	1 5 8		
予 防 査 察	3 6 4	8 2 9		
誤 報 等	4	3 2	1	3 4
そ の 他	1 0 1	4 8 7	1 6	3 8
合 計	4, 9 9 3	1 5, 6 4 1	8 3 4	1 2, 9 0 3

2. 機 械 及 び 施 設

(1) 消防車両の現況

平 3 1 . 4 . 1 現 在

所 属	車 両 名	形 状 等	車 名	ポ ン プ		購入年月
				メーカー	級別	
消 防 本 部 ・ 射 水 消 防 署	射水指揮 1	指揮車	トヨタ			H17.2
	射水 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	モリタ	A-2	H31.3
	射水 2	水槽付消防ポンプ車(I-A 型)	日野	モリタ	A-2	H26.2
	射水化学 1	化学消防ポンプ車 (II 型)	日野	長野	A-2	H30.2
	射水梯子 1	はしご車(30m級)	日野			H28.10
	射水救助 1	救助工作車 (II 型)	日野			H15.12
	射水搬送 1	資機材搬送車	トヨタ			H29.11
	射水支援 1	支援車 (I 型)	日野			H23.2
	射水査察 1	査察車	トヨタ			H20.11
	射水査察 2	査察車	トヨタ			H24.12
	射水救急 1	高規格救急車	ニッサン			H20.2
	射水救急 3	高規格救急車	トヨタ			H30.10
	射水指令 1	指令車	トヨタ			H14.4
出 張 所 大 門	射水 3	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	モリタ	A-2	H27.9
	射水救急 2	高規格救急車	トヨタ			H20.2
新 湊 消 防 署	射水指揮 2	指揮車	トヨタ			H24.2
	射水 4	水槽付消防ポンプ車(I-A 型)	日野	モリタ	A-2	H22.11
	射水 5	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H13.12
	射水 6	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	モリタ	A-2	H27.9
	射水救助 2	救助工作車(II 型)	日野			H27.2
	射水原液 1	泡原液搬送車 5000ℓ (小型動力ポンプ付)	いすゞ	モリタ	B-2	H9.12
	射水査察 3	査察車	トヨタ			H30.1
	射水査察 4	連絡車	スズキ			H28.7
	射水搬送 2	隊員搬送車 (マイクロバス 25 人乗)	いすゞ			H10.1
	射水搬送 3	資機材搬送車	いすゞ			H5.12
	射水救急 4	高規格救急車	ニッサン			H25.1
東 部 出 張 所	射水 7	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	日本機械	A-2	H21.2
	射水高所 1	大型化学高所放水車	いすゞ	モリタ	A-1	H13.11
	射水広報 1	広報車	トヨタ			H11.2
	射水救急 5	高規格救急車	トヨタ			H26.9

所属	車 両 名	形 状 等	車 名	ポ ン プ		購入年月
				メーカー	級別	
北部方面団	放生津分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	日本機械	A-2	H18.12
	新湊分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	日本機械	A-2	H18.12
	庄西分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H26.11
	塚原分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H30.9
	作道分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.10
	片口分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H25.9
	七美分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H26.11
	堀岡分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H28.4
	海老江分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H27.10
	本江分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H24.10
南部方面団	戸破分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	トヨタ	長野	A-2	H16.3
	三ヶ分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	長野	A-2	H13.2
	橋下条分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	長野	A-2	H12.1
	金山分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	長野	A-2	H13.10
	大江分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	トヨタ	モリタ	A-2	H16.3
	黒河分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.10
	池多分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	長野	A-2	H20.1
	太閤山分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	日野	長野	A-2	H20.1
	中・南太閤山分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	長野	A-2	H8.3
	大門分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H8.3
	櫛田分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H29.1
	浅井分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	三菱	モリタ	A-2	H12.6
	水戸田分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	三菱	モリタ	A-2	H12.6
	二口分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H14.10
	大島分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H30.9
	下分団 1	消防ポンプ車(CD-I 型)	いすゞ	モリタ	A-2	H8.3
その他	下搬送車	資機材搬送車	三菱			H10.11
	金山積載車	小型動力ポンプ積載車	いすゞ			H13.10
	堀岡広報車	広報車	トヨタ			H28.3
	救助資機材積載車	小型動力ポンプ積載車	いすゞ			H22.7
	消防団広報車	広報車	ニッサン			H27.12

(2) 特殊資器材等の保有状況

平 3 1 . 4 . 1 現在

	救 助 用			救 急 用	
	資器材名	数量		資器材名	数量
救 助 用	空 気 呼 吸 器	6 8	化 学 ・ 消 火 用	合成界面活性剤 (ℓ)	8 7 6
	酸 素 呼 吸 器	2		水性膜泡消火 (ℓ)	7, 0 3 0
	送 排 風 機	4		油処理剤 (ℓ)	2 1 6
	油圧ジャッキ (ポートパワー)	3		油処理剤 (kg)	9 7 1. 5 5
	可 搬 ウ イ ン チ	7		油吸着マット (kg)	3 5 4. 0 5
	マ ッ ト 型 空 気 ジ ャ ッ キ	4		オイルフェンス A 型 (m)	1 6 0
	油圧スプレッダー (大型含む)	5		消防用ホース 5 0 ミリ	2 3 2
	油 圧 切 断 機 (大 型 含 む)	5		〃 6 5 ミリ	5 7 7
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー	9		〃 7 5 ミリ	1 6
	ガ ス 溶 断 器	4		〃 1 0 0 ミリ	5
	チ ェ ン ソ ー	3	救 急 用	泡 ノ ズ ル 管 鎗	5
	鉄 線 カ ッ タ ー	1 3		ラインプロポーションナー	2
	空 気 鋸 (エ ア ソ ー)	4		放水銃 (フォグガン)	5
	万 能 斧	3 2		高 圧 噴 霧 銃	1
	削 岩 機	3		大 量 送 水 ポ ン プ	1
	ハ ン マ ー ド リ ル	3		心肺蘇生訓練人形 (成人用)	2 7
	救 命 索 発 射 銃	7		心肺蘇生訓練人形 (乳幼児用)	1 5
	救 助 艇 (船 外 機 付)	2		気 道 管 理 訓 練 人 形	6
	救 命 ポ ー ト	4		A E D ト レ ー ナ ー	1 6
	潜水器具 (ウェットスーツ)	2 5		外 傷 模 型	2
	救 命 胴 衣	5 3		スクープストレッチャー	1 5
	救 命 浮 環	2 5		バ ッ ク ボ ー ド	1 1
	か ぎ 付 は し ご	9		イ ー バ ッ ク チ ェ ア	6
	三 連 は し ご	8		血 圧 計	7
	空 気 式 救 助 マ ッ ト	2		血 中 酸 素 飽 和 度 測 定 器	1 0
	サバイバースリングまたは救助用縛帯	1 7		心 電 計 (携 帯 型)	6
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器	4		傷 病 者 監 視 モ ニ タ ー	5
	有 毒 ガ ス 測 定 器	2		自 動 式 人 工 呼 吸 器	5
	放 射 線 測 定 器	2 9		手 動 式 人 工 呼 吸 器	1 0
救 急 用	耐 電 衣	1 9		電 動 式 吸 引 器	7
	防 毒 衣	1 0		シ ョ ッ ク パ ン ツ	6
	耐 熱 服	8		自 動 式 心 臓 マ ッ サ ー ジ 器	4
	バ ス ケ ッ ト 型 担 架	6		半 自 動 式 除 細 動 器	5
	投 光 器	2 2		輸 液 ポ ン プ	5
	携 帯 拡 声 器	2 5		オ ゾ ン 殺 菌 装 置	1
	簡 易 起 重 機	2		血 糖 測 定 器	5
				陰 圧 式 固 定 マ ッ ト	6

(3) 消防水利の現況

平 3 1 . 4 . 1 現在

種別 地区名	消 火 栓			防 火 水 槽			
	適 合	適 合 外	小 計	有 蓋		無 蓋	
				4 0 t 以上	4 0 t 未満	4 0 t 以上	4 0 t 未満
放 生 津	7 3	2 7	1 0 0	3 2	3		
新 湊	7 6	3 8	1 1 4	3 8	2		
庄 西	1 4	1 2	2 6	9	1		
塚 原	2 2	3 1	5 3	3 2	6		
作 道	4 6	4 6	9 2	5 8	2 1		
片 口	3 6	5	4 1	3 5	4		
七 美	1 1	5	1 6	3 1	8		
堀 岡	4 4	5	4 9	3 0	3		
海 老 江	5 0	2	5 2	3 9	5		
本 江	9	2 5	3 4	2 5	9		
戸 破	1 2 7	2 5	1 5 2	2 4			
三 ヶ	8 5	2 6	1 1 1	2 0			
橋 下 条	3 9	1 3	5 2	1 5			
金 山	2 9	1 8	4 7	3 0			1
大 江	4 2	3 0	7 2	2 5			
黒 河	4 1	1 1	5 2	1 6			
池 多	1 0	9	1 9	1 0			
太 閤 山	4 6	1 4	6 0	3			
中太閤山	3 8	7	4 5	7			
南太閤山	3 8	1	3 9	9			
大 門	3 5	1 9	5 4	9			
櫛 田	4 9	3 8	8 7	1 5			
浅 井	4 4	4 6	9 0	1 1			
水 戸 田	4 4	1 5	5 9	1 4	2		1
二 口	5 1	2 3	7 4	7			
大 島	1 0 1	1 0 3	2 0 4	4 7	1 0		
下	2 1	1 5	3 6	2 6	2		
合 計	1, 2 2 1	6 0 9	1, 8 3 0	6 1 7	7 6		2

統計編

1 火 災 統 計

(1) 最近 5 年間の火災概要

年 別 区 分			平成 2 6 年	平成 2 7 年	平成 2 8 年	平成 2 9 年	平成 3 0 年
火 災 種 別	建 物 火 災 (件)		8	14	14	7	16
	林 野 火 災 (件)						
	車 両 火 災 (件)		1	2	2	2	3
	船 舶 火 災 (件)						
	そ の 他 火 災 (件)			4	4	3	3
	合 計 (件)		9	20	20	12	22
焼 損 棟 数	全 焼 (棟)		1	4	2	5	5
	半 焼 (棟)		1	2	1	1	
	部 分 焼 (棟)		2	6	5	3	5
	ぼ や (棟)		5	5	6	8	9
	合 計 (棟)		9	17	14	17	19
建 物 焼 損		床 面 積 (m ²)	224	792	383.1	498.4	283.8
		表 面 積 (m ²)	5	26.2	17.5	66.9	831.3
林 野 焼 損 面 積 (a)							
そ の 他 焼 損 面 積 (a)							
死 者 (人)				1			4
負 傷 者 (人)			2	3	2	2	7
り 災 世 帯 (世 帯)			4	8	1	12	7
り 災 人 員 (人)			16	30	7	35	24
損 害 額 (千 円)			2,415	63,311	20,951	32,141	176,228
出 火 率			1.0	2.1	2.1	1.3	2.4
全 火 災 1 月 当 た り	出 火 件 数 (件)		0.8	1.7	1.7	1	1.8
	損 害 額 (千 円)		201.3	5,275.9	1,745.9	2,678.4	14,685.7
	建物焼損	床面積(m ²)	18.7	66	31.9	41.5	23.7
		表面積(m ²)	0.4	2.2	1.5	5.6	69.3
全火災 1 件当たり損害額 (千 円)			268	3,166	1,047.6	2,678.4	8,010.4
建 物 火 災 1 件 当 た り	損 害 額 (千 円)		279	4,489	1,358.7	2,996.3	10,919.8
	建物焼損	床面積(m ²)	27.9	56.6	27.4	71.2	17.7
		表面積(m ²)	0.6	1.9	1.3	9.6	52

※ 出火率とは、人口 1 万人当たりの出火件数をいう。

※ 床面積とは、床と壁、壁と天井など立体的に燃えた場合の面積をいう。

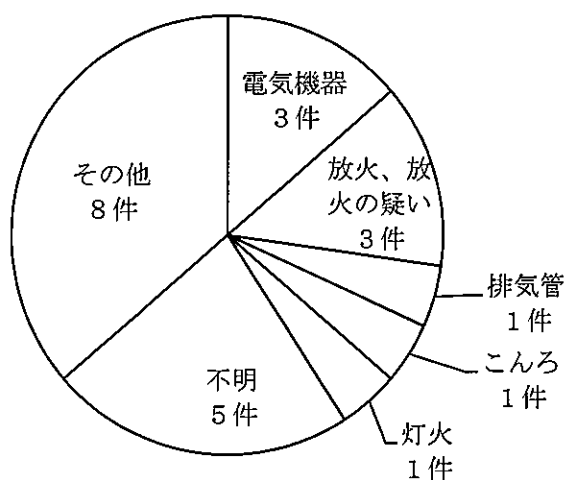
※ 表面積とは、床だけ、壁だけ、天井だけなど平面的に燃えた場合の面積をいう。

※ 出火件数の () 内は、爆発による件数をいう。

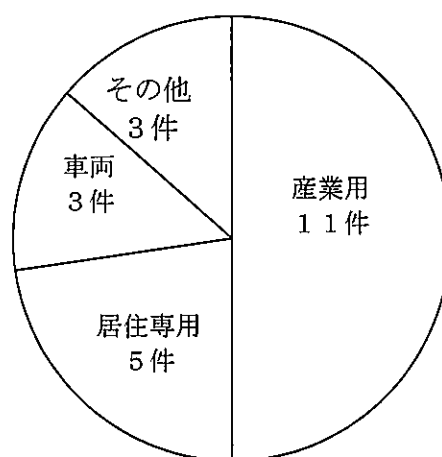
(2) 平成30年中の火災概要

(出火件数合計22件)

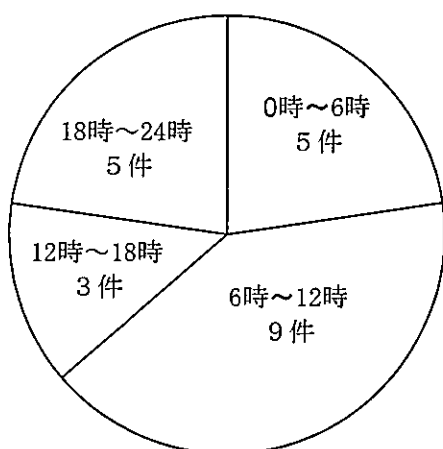
ア 原因別



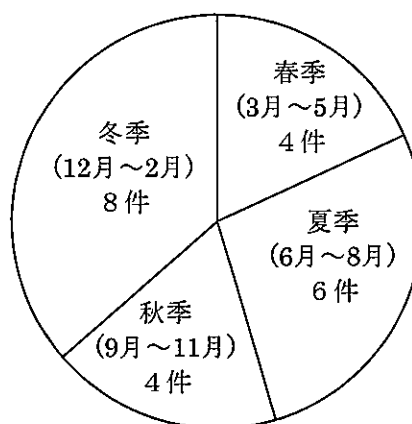
イ 用途別



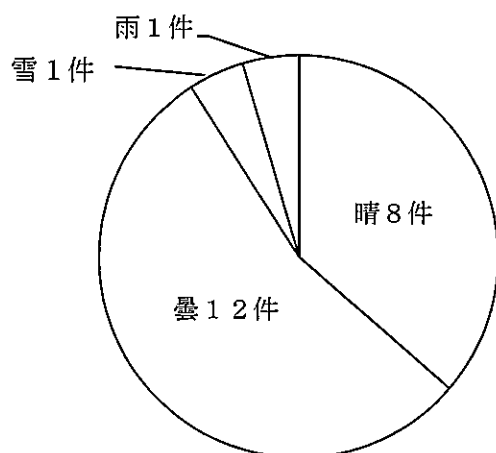
ウ 時間別



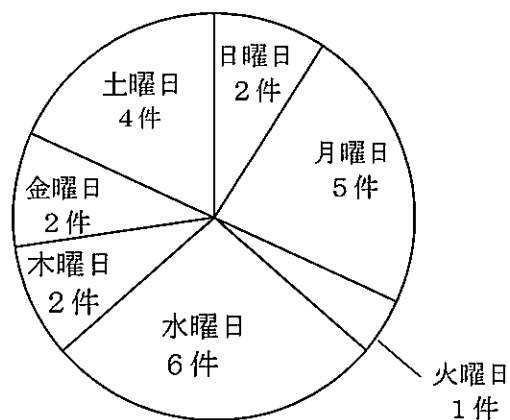
エ 季節別



オ 天候別



カ 曜日別



出火原因別火災発生状況

平成30年の火災件数 22件

平30. 1. 1～12. 31

出火日	火災種別	出火原因 (発火源等)	出 火 概 要
2月13日	建物	不明	住宅から出火し、隣家の一部に延焼。死傷者あり。
2月17日	車両	放火	車両内で焼身自殺を図る。
2月17日	建物	その他	電気炉の損傷により炉内の溶鋼が漏洩したことで、付近の配管、電気ケーブル等を焼損。
2月19日	建物	その他	製鋼工場にて取鍋内に残ったスラグの排滓作業中、水蒸気爆発が発生。飛散した高熱スラグにより作業員1名が熱傷を負う。また、付近の電気ケーブルや油圧ホース等も焼損。
2月28日	建物	その他	建屋内に於いて自走式粉碎機を使用し木製チップを製造中、同機のチップ排出コンベアのテーブルブリー内部にチップが埋積し摩擦熱で発火し焼損。
4月1日	その他	放火の疑い	何者かが、敷地内に放置してあったスクラップ類に放火した疑い。
4月2日	その他	不明	ビニールハウスが一部焼損し、周囲の枯れ草が燃えたもの。
4月25日	建物	その他	自動旋盤機が作動中、金属切り屑から発火し製品やパレット、工場の一部に延焼拡大したもの。負傷者あり。
5月24日	建物	その他	建屋内でリフトアップした車両より出火、建物に延焼拡大したもの。負傷者あり。
6月7日	建物	コンロ	天ぷら鍋の加熱により出火、床、網戸等を焼損。負傷者あり。
7月4日	建物	その他	屋外に置かれたフレコンパックより出火したと推定され、建物や周囲のプラスチック廃棄物等を焼損。
7月23日	建物	不明	パッカー車に刈り草を積載した際に何らかの火源が入り込んだ状態で圧縮され搬送。集積場で排出した際、圧縮が解け燃え広がったと推定され、集積場の柱、屋根を焼損。
8月4日	車両	排気管	エンジンルーム内にあった鳥の巣が燃えたもの。
8月11日	建物	その他	電気炉で溶解した溶鋼をレードルに受け台車で搬送する際、何らかの原因でレードルの側壁が穿孔し、漏れ出た溶鋼で台車のモーターや電気配線等を焼損。
8月13日	建物	不明	ゴミ集積小屋を焼損。
10月10日	建物	電気機器	除湿乾燥機の電源コードに折れや強い外圧が加わり半断線状態となり局部発熱が発生、電源コードが発火し付近の衣類に着火し出火。住宅を焼損。
11月9日	車両	電気装置	社外品ヘッドライト関連部品の取付け不備により出火。
11月11日	建物	その他	厨房内のフライヤーに油が入っていない状態と気付かずスイッチを入れたため、付着していた油かすに着火し、フライヤーと冷凍ショーケースを焼損。
11月21日	建物	灯火	明かりとして居室で使用していた蠟燭が倒れ、付近の可燃物に着火し出火。
12月10日	建物	配線機器	テレビ等の電源プラグでトラッキング現象による出火と推定する。住宅を焼損し、路地を挟む隣家の窓ガラスを飛散物で一部破損する。
12月19日	建物	不明	工場内リサイクル用スクラップ集積場から出火。スクラップ及び、建物壁面を焼損。
12月21日	その他	放火	焼身自殺を図る。

(4) 火災による死傷者状況（過去３年間）

年別	出火日時	死傷者の発生した場所				死 傷 者			死傷因
		用途	構造	焼損程度	出火箇所	性別	年齢(歳)	程度	
二十八年	5月6日 6時30分	専用住宅	木造	ぼや	浴室	女	21	重症	火傷
	8月8日 9時10分	工場	準耐	ぼや	加工工場	男	46	軽症	火傷
二十九年	5月8日 17時40分	専用住宅	その他	ぼや	敷地内	女	84	軽症	動悸
						女	60	軽症	動悸
三十年	2月13日 0時30分ごろ	専用住宅	木造	全焼	居室	男	80	死亡	焼死
						女	76	軽傷	火傷
	2月17日 7時15分ごろ				客席	男	40	死亡	焼死
	2月19日 6時30分ごろ	工場	準耐	ぼや	製造工場	男	54	重症	火傷
	4月25日 18時00分ごろ	工場	準耐	部分焼	加工工場	男	39	軽傷	火傷
	5月24日 18時30分ごろ	工場	準耐	ぼや	車庫	男	41	軽傷	火傷
	6月7日 22時07分ごろ	専用住宅	木造	ぼや	食事室	女	40	軽傷	火傷
	11月9日 5時00分ごろ				その他	男	55	軽傷	火傷
	11月11日 6時50分ごろ	複合建築物	準耐	ぼや	飲食店部分	女	83	軽傷	火傷
	11月21日 5時15分ごろ	専用住宅	木造	ぼや	居室	女	77	死亡	急性一酸化炭素中毒
	12月21日 12時05分ごろ				空地	男	62	死亡	焼死

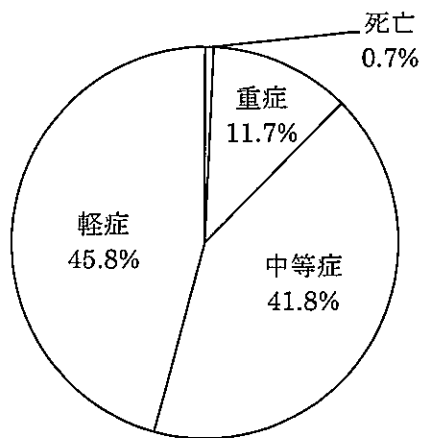
2 救 急 統 計

(1) 最近5年間の救急概要

区 分		年 別	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
出 場 件 数			2, 8 8 3	2, 9 8 8	3, 0 3 0	3, 2 6 6	3, 4 9 0
搬 送 人 員			2, 7 2 1	2, 8 1 6	2, 8 4 0	3, 0 9 0	3, 3 4 7
不 搬 送 件 数			1 9 6	2 0 9	2 2 1	2 1 0	1 7 9
出 場 件 数 内 訳	火 災		9	1 3	1 2	9	2 5
	自 然 災 害				2		
	水 難		1 3	5	1 1	1 0	9
	交 通		2 8 1	2 7 2	2 7 3	2 8 5	2 4 0
	労 働 災 害		4 0	4 3	4 6	6 7	6 7
	運 動 競 技		2 6	2 7	2 8	2 6	3 9
	一 般 負 傷		3 8 4	3 9 0	4 5 4	4 7 5	5 2 1
	加 害		1 1	1 6	1 0	9	1 7
	自 損 行 為		2 9	2 7	2 5	2 7	2 6
	急 病		1, 7 7 0	1, 8 8 3	1, 8 7 1	2, 0 2 8	2 2 1 0
	そ の 内	転 院 搬 送	3 1 1	3 0 2	2 8 5	3 1 2	3 2 5
		医 師 搬 送					2
		資 器 材 等 輸 送					
	他	そ の 他	9	1 0	1 3	1 8	9
合 計			2, 8 8 3	2, 9 8 8	3, 0 3 0	3, 2 6 6	3, 4 9 0

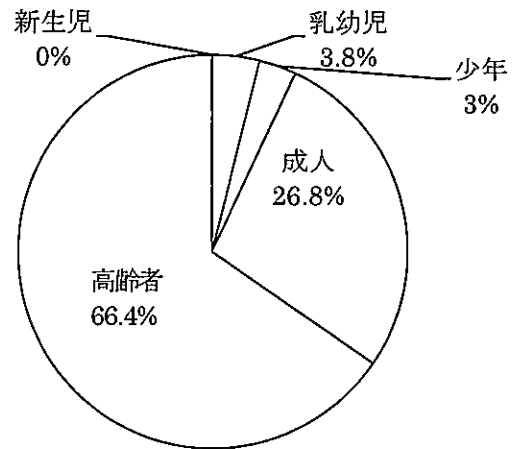
(2) 平成30年中の救急概要

ア 傷病程度別搬送状況



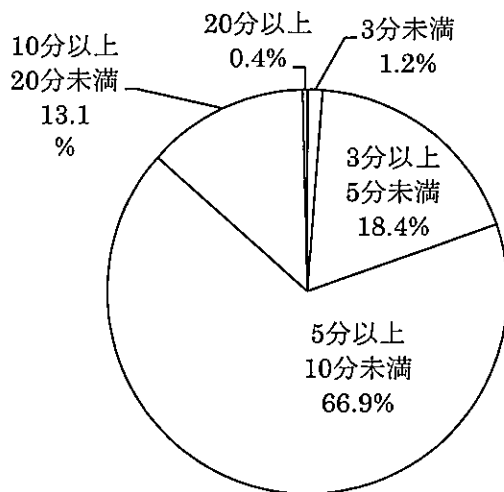
(注) 軽 症：入院を必要としないもの
 中等症：入院を必要とするもので重症に至らないもの
 重 症：3週間以上の入院を必要とするもの
 死 亡：医療機関で死亡が確認されたもの

イ 年齢別区分搬送状況



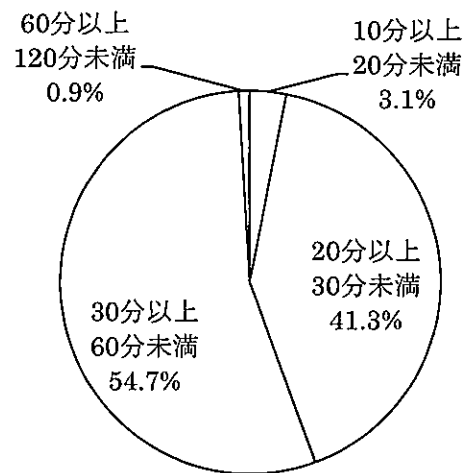
(注) 新生児：生後28日未満の者
 乳幼児：生後28日以上7歳未満の者
 少 年：満7歳以上満18歳未満の者
 成 人：満18歳以上満65歳未満の者
 高齢者：満65歳以上の者

ウ 現場到着所要時間（分）



(注) 覚知～現場～医療機関収容
 最長現場到着時間 25.0分
 現場到着平均所要時間 6.8分

エ 医療機関収容所要時間（分）



(注) 覚知～現場到着
 最長収容時間 115.0分
 収容平均所要時間 31.9分

(3) 医療機関別搬送人員状況

平30. 1. 1～12. 31

事故種別 医療機関		急 病		交 通		一般負傷		その他		計	
			う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外		う ち 管 外
救 医 急 療 告 機 示 関	国 立	91	91	1	1	6	6	42	42	140	140
	公 立	1,015	375	118	58	270	102	204	122	1,607	657
	公 的	432	431	52	52	86	86	179	179	749	748
	私 病 院	569	3	88		144	1	44	11	845	15
	的 診療所										
	小 計	2,107	900	259	111	506	195	469	354	3,341	1,560
そ 医 の 療 他 機 の 関	国 立										
	公 立										
	公 的										
	私 病 院							2		2	
	的 診療所	3						1	1	4	1
	小 計	3						3	1	6	1
合 計	国 立	91	91	1	1	6	6	42	42	140	140
	公 立	1,015	375	118	58	270	102	204	122	1,607	657
	公 的	432	431	52	52	86	86	179	179	749	748
	私 病 院	569	3	88		144	1	46	11	847	15
	的 診療所	3						1	1	4	1
	合 計	2,110	900	259	111	506	195	472	355	3,347	1,561

(4) 救急隊員の行った応急処置状況

平30. 1. 1～12. 31

区分 種別	対象人員	処置総数	止 血	固 定	人工呼 吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸 入
							うち 自動		うち 自動	
急 病	2,109	9,922	27	9	9			75	5	492
交通事故	257	1,107	24	75				1		13
一般負傷	506	2,193	61	41	1			17		47
その他	472	2,261	20	34	4			11		146
合 計	3,344	15,483	132	159	14			104	5	698

区分 種別	気 道 確 保					保 温	被 覆	在 宅 療 法 継 続			
	エ ア ウ エイ 経 鼻	喉 頭 鏡・ 鉗子等	ラ リ ン ゲ ア 等	気 管 挿 管	点 滴			外 傷	その他		
急 病	193	1	3	6		1,118	10	46	2	10	34
交通事故	2					86	36				
一般負傷	25	1	9		1	223	92	2			2
その他	21	3		1	1	264	26	5		2	3
合 計	241	5	12	7	2	1,691	164	53	2	12	39

区分 種別	シ ョ ッ ク	除 細 動	静 脈 路 確 保	薬 剤 投 与	そ の 他 の 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器	血 中 酸 素 飽 和 度	心 電 図	静脈路確保	
										CPA前	CPA後
急 病		8		7	2,078	2,004	472	2,029	1,296	2	10
交通事故					226	254	78	254	58		
一般負傷		1		1	487	481	65	482	165		1
その他		1		1	459	459	116	460	230	2	2
合 計		10		9	3,250	3,198	731	3,225	1,749	4	13

区分 種別	血 糖 値 測 定	ブ ド ウ 糖 投 与	エ ピ ペ ン 投 与
急 病	36	1	
交通事故			
一般負傷	1		
その他			
合 計	37	1	

3 応急手当普及啓発

(1) 最近5年間の救命講習受講者数

種 別 \ 年 度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	合 計
上級救命講習	29	18		14		61
普通救命講習	1,066	1,077	950	932	799	4,824
救命入門講習	1,176	1,106	1,104	1,074	911	5,371
その他救命講習	1,447	1,353	1,024	1,332	1,298	6,454
応急手当普及員講習		26		7		33
合 計	3,718	3,580	3,078	3,359	3,008	16,743

(2) 対象者別受講状況

平17.11.1～平31.3.31

対 象 者		一般市民	事業所	学 校	消 防 団 女性クラブ	合 計
講 習 別	回 数	6	4	12		22
	受講者	86	25	181		292
普通救命講習	回 数	259	385	249	27	920
	受講者	4,639	5,863	5,584	394	16,480
救命入門講習	回 数	39	22	55	1	117
	受講者	827	362	6,517	9	7,715
その他救急講習	回 数	253	224	84	2	563
	受講者	9,438	5,788	6,754	130	22,110
応急手当普及員 講習	回 数	4	1		4	9
	受講者	53	19		58	130
合 計	回	561	636	400	34	1,631
	人	15,043	12,057	19,036	591	46,727

※ 普及員は3年毎の更新が必要であり、現在認定資格者は65名である。

(3) 修了証交付状況 (平成17年11月以降)

普通救命講習修了証 16,480人
上級救命講習修了証 292人

4 救 助 統 計

(1) 最近5年間の救助概要

年 別 区 分		平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
救助出動件数		50	53	65	64	65
事故種別	火 災	5	11	10	7	14
	交 通 事 故	18	19	31	33	21
	水 難 事 故	11	5	10	10	11
	自 然 災 害					
	機械による事故	3	3	2	1	2
	建物等による事故		2	2	1	3
	ガス及び酸欠事故		1			
	破 裂 事 故					
	そ の 他	12	13	10	12	14
出 動	車 両	157	130	148	162	149
	人 員	543	518	507	545	554
救助活動件数		16	19	22	26	21
活 動	車 両	40	50	53	65	56
	人 員	136	268	183	227	210
救 助 人 員		19	19	24	26	21
被 救 助 者	生 存	15	14	20	20	18
	死 亡	4	5	4	6	3

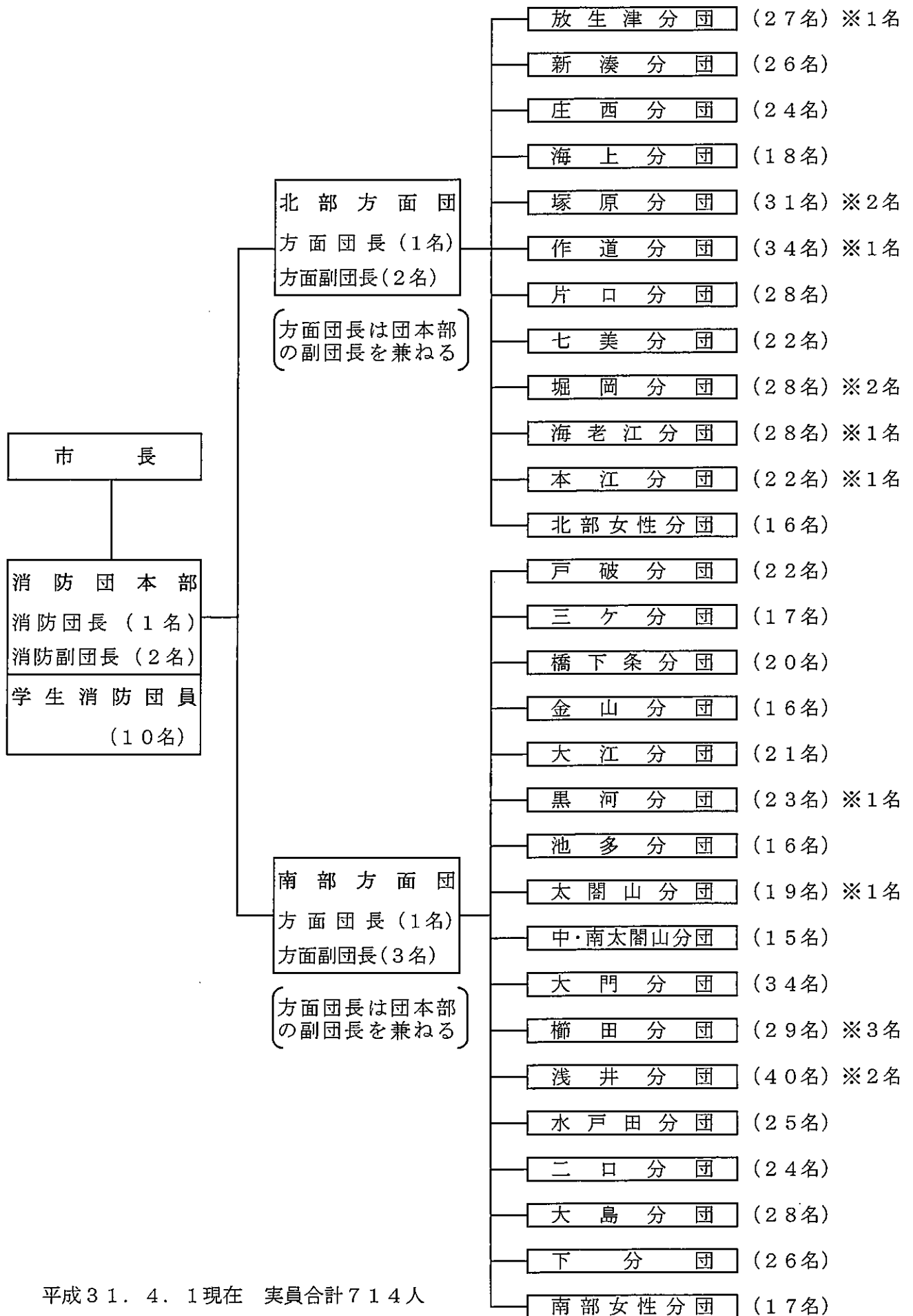
(2) 事故種別救助活動状況

平30. 1. 1～12. 31

救助人員等 事故種別	出動件数	活動件数	救助人員			程 度 別 人 員				
			男	女	計	軽症	中等症	重症	死亡	けが無
火 災	14	2								
交 通 事 故	21	9	7	4	11	6	5			
水 難 事 故	11	7	3	4	7	2	1	1	3	
自 然 災 害							2	1		
機械による事故	2									
建物等による事故	3									
ガス及び酸欠事故										
破 裂 事 故										
そ の 他	14	3	3		3					
合 計	65	21	13	8	21	8	8	2	3	

消防団編

1 消 防 団 組 織 図



平成 3 1 . 4 . 1 現 在 実 員 合 計 7 1 4 人
条 例 定 員 7 5 7 人

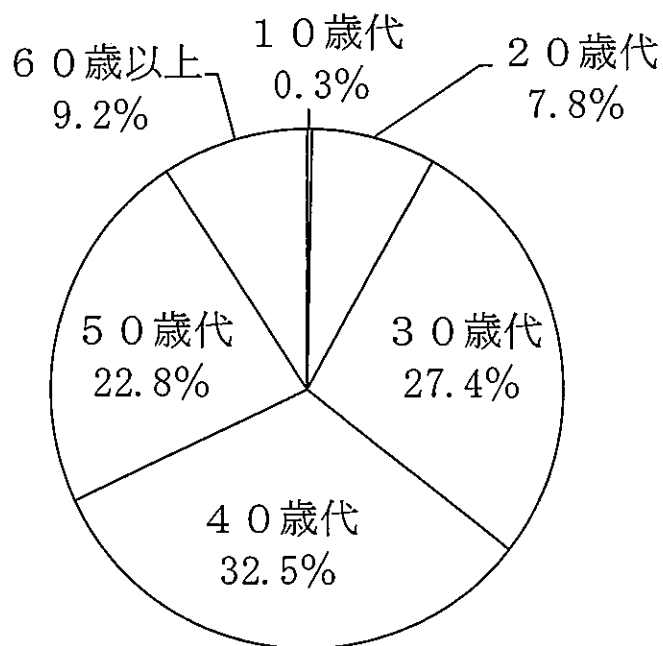
2 階級別年齢状況

平31.4.1現在

階級 年齢	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	合計
20歳未満							2	2
20歳以上～25歳未満							18	18
25歳～30歳							38	38
30歳～35歳						1	82	83
35歳～40歳						14	98	112
40歳～45歳		1			4	22	87	114
45歳～50歳			1	2	10	46	59	118
50歳～55歳			3	3	18	34	28	86
55歳～60歳			9	10	18	22	18	77
60歳以上	1	6	16	14	7	4	18	66
合計	1	7	29	29	57	143	448	714
平均年齢(歳)	64.0	62.4	60.0	58.4	53.2	48.3	39.7	44.3

年齢構成

団員数 714人
平均年齢 44.3歳



3 報酬・手当状況

平31.4.1現在

区分 手当	支給単位	階級別支給金額(円)							
		団長	副団長 方面団長	方面 副団長	分団長	副分 団長	部長	班長	団員
職務報酬	年額	100,000	84,000	72,000	52,500	43,000	31,000	26,000	24,000
		機能別団員 12,000							
費用弁償	1回	1,800円 1人当たり							
団員加入 促進手当	年額	分団長 20,000×29人							

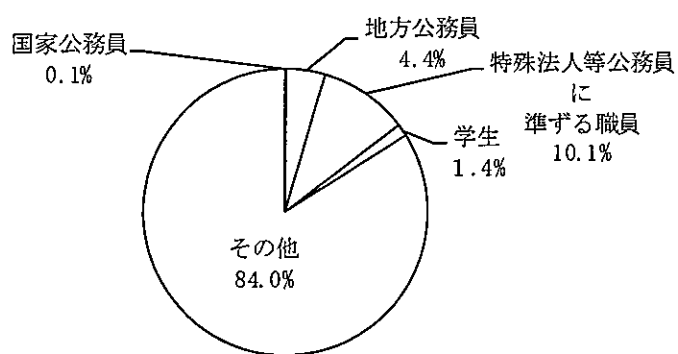
4 在職年数状況

平31.4.1現在

5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	合計
142	148	126	113	77	58	50	714

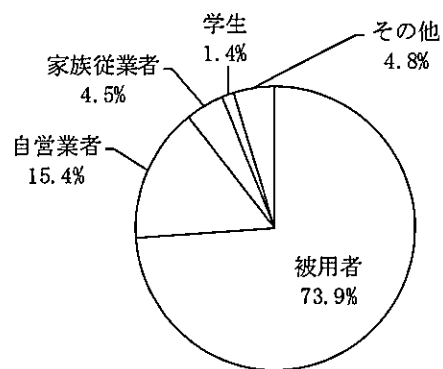
5 消防団員の職業構成及び就業形態別の状況

(1) 消防団員の職業構成



・国家公務員	1人
・地方公務員	31人
・特殊法人等公務員に準ずる職員	72人
・学生	10人
・その他	600人
計	714人

(2) 就業形態別の状況



・被用者	528人
・自営業者	110人
・家族従業者	32人
・学生	10人
・その他	34人
計	714人

自主防災組織編

1 射水市危険物安全協会の現況

(1) 会 員 数

255 事業所

平 3 1. 4. 1 現在

(2) 活動概要

平30. 4. 1~平31. 3. 31現在

活 動 内 容	回 数	参 加 延 人 員
総 会 ・ 役 員 会	3	1 0 0
消 火 技 術 競 技 会	1	1 0 6
防 災 講 演 会	1	7 0
研 修 会	1	2 3
合 計	6	2 9 9

2 私設消防団等の現況

組織数 30組織

団員数 502人

平31.4.1現在

地 区	名 称	団 員 数
作 道 地 区	作 道 私設消防団	22
	久々湊 //	29
	野 村 //	17
	津幡江 //	10
	今 井 //	22
	殿 村 //	9
	西三ヶ //	21
	新生町 //	16
	沖 //	8
塚 原 地 区	寺塚原 私設消防団	11
	沖塚原 //	13
	川 口 防 災 隊	14
片 口 地 区	片口久々江地区自主防災会	10
大 門 地 区	枇杷首 私設消防団	22
浅 井 地 区	土 合 自衛消防隊	26
	広 上 自衛消防団	25
櫛 田 地 区	布目沢 //	11
	荒 町 //	14
水 戸 田 地 区	水 戸 田 //	9
大 島 地 区	今 開 発 私設消防団	17
	新 開 発 //	9
	赤 井 //	14
	小 林 //	16
	北 高 木 //	11
	八 塚 //	20
	小 島 //	25
	中 野 //	24
	若 杉 //	31
	三 島 野 //	10
	新 町 //	16
合 計	30組織	502

3 消 防 ク ラ ブ の 現 況

(1) 幼年消防クラブ

クラブ数 30クラブ

クラブ員数 726人

平31.4.1現在

名 称	結 成 日	名 称	結 成 日
新湊作道保育園 幼年消防クラブ	S60.7.17	小杉東部保育園 幼年消防クラブ	H7.6.8
片口保育園 //	S60.7.24	大島南部保育園 //	H7.6.22
塚原保育園 //	S60.8.1	金山保育園 //	H7.6.27
新湊西部保育園 //	S60.9.12	杉の子保育園 //	H8.6.7
七美幼稚園 //	S62.1.27	千成保育園 //	H8.6.12
池多保育園 //	S63.6.5	黒河保育園 //	H8.6.19
大江保育園 //	S63.6.18	あいあい保育園 //	H8.7.4
あおい幼稚園 //	H1.5.17	大門きらら保育園 //	H12.6.28
第3あおい幼稚園 //	H1.5.17	堀岡保育園 //	H15.8.7
新湊中部保育園 //	H3.11.19	大島つばさ保育園 //	H16.4.1
放生津保育園 //	H3.11.20	大門わかば幼稚園 //	H18.4.1
新湊保育園 //	H3.11.26	水戸田保育園 //	H20.4.1
八幡保育園 //	H3.12.3	射水おおぞら保育園 //	H21.4.1
下村保育園 //	H7.5.26	太閤山あおい園 //	H25.4.1
小杉西部保育園 //	H7.5.31	海老江こども園 //	H29.4.1

(2) 少年消防クラブ

クラブ数 15クラブ

クラブ員数 1,714人

平31.4.1現在

名 称	結 成 日	名 称	結 成 日
大島小学校 少年消防クラブ	S44.12.15	太閤山小学校 少年消防クラブ	S59.11.1
金山小学校 //	S58.3.14	片口小学校 //	S60.7.15
中太閤山小学校 //	S58.10.17	作道小学校 //	S60.9.19
小杉小学校 //	S59.5.8	塚原小学校 //	S60.9.30
歌の森小学校 //	S59.5.8	堀岡小学校 //	S60.10.23
大門小学校 //	S59.5.11	新湊小学校 //	S60.11.7
下村小学校 //	S59.5.11	放生津小学校 //	S60.11.25
東明小学校 //	S59.6.26		

4 女性防火クラブの現況

クラブ数 11クラブ

クラブ員数 136人

平31.4.1現在

名 称	結 成 日
七 美 女性防火クラブ	S59. 9.11
作 道 //	S60. 7.15
堀 岡 校 下 //	S61. 7.28
新湊校下古新町中部 //	S62.12.28
中 伏 木 校 下 //	H 6.12.19
三 日 曾 根 //	H 7. 9.12
善 光 寺 //	H 8. 4.12
塚 原 女性防災クラブ	H17. 7. 1
小 杉 女性防火クラブ	H25. 7. 8
大 門 //	H25. 7. 8
下 村 //	H25. 7. 8

5 防火推進委員会の現況

会員数

平31.4.1現在

名 称	校 下 数	人 員
新湊校下防火推進員連絡協議会	1	34

消防年報 令和元年版

編集日 令和元年6月
編 集 射水市消防本部

住 所 富山県射水市橋下条1522番地
〒939-0332
電 話 0766-56-0119
FAX 0766-56-9542
メール fire@city.imizu.lg.jp